



# 聖ヨハネ会だより

第47号 令和2年12月

## 令和2年を振り返って

法人事務局長 竹川 和宏

毎年12月号は、その年を振り返って感じたことや起こったことを回想しながらお伝えしていますが、今年は回想するという気持ちにはなかなかできない今のそしてこれまでの状況があると思います。

聖ヨハネ会の事業は、医療・介護・福祉という分野で、広い意味では社会インフラと考えるのもいいのですが、日常としてあって当然という機能が利用できなくなることがこれほどまでも生活に影響を与えるということを改めて知らされたように感じています。それは利用されるみなさまもそうだと思いますが、提供する我々側もそうです。「感染拡大を防止しながら経済活動を回していく」「感染を抑えなければならない、でも経済も回さなければ生活が成り立たない」この命題に国内すべてが向き合わされ、どうしていくのかを考えさせられた一年でした。そしてそれはまだ継続中であります。

先ほど我々は社会インフラであると申しましたが、この機能をどうやって継続していくのか、地域のために行っていくことは何か、それは目の前にいらっしゃる患者さん利用者さんを全力でご支援すること、そして我々が持ちうる情報を発信し少しでも安心を届けること、原点回帰といいますか、そういうことなのではなかろうかと感じています。そしてそのために職員は全員その場面場面で頑張ってくれています。この積み重ねを心折れずに続けていくことだと思っています。

国に突き付けられた命題は法人も同様にあり、この厳しい現状でどう経営を立て直していくのか、法人の役員会や経営会議でも協議しておりますが、出来ることを全てやっていくという気持ちを継続し、スピード感を持って行っていくことに『全集中』、日頃から言われていることです。地域のみなさまと共にこの難局を乗り越えていければと思っています。

## 各事業所の活動

### 小金井市の産後ケア事業が始まりました！

桜町病院 産婦人科病棟師長 川原田 由喜子

予てより検討を進めていました小金井市の産後ケア事業を開始することとなりました。小金井市民で生後4か月未満の乳児と母親で授乳や育児に不安があったり、ご家族などからのサポートが充分でなく困っている方等、是非ご利用いただければと思います。

助産師が母乳相談、育児相談などお悩みになっていることを一緒に考えていきます。ゆっくりと休みたい方は、赤ちゃんをお預かりします so で自由に休息をおとりください。

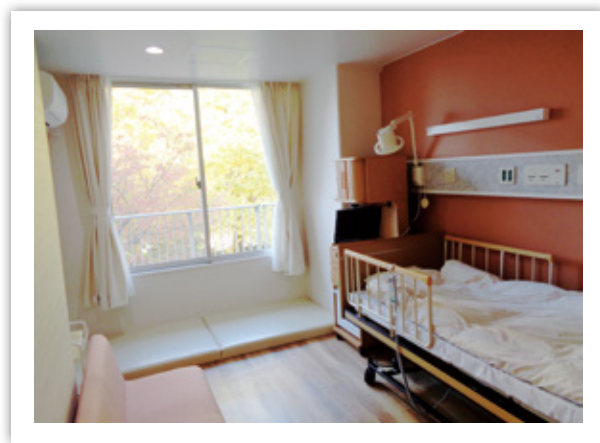
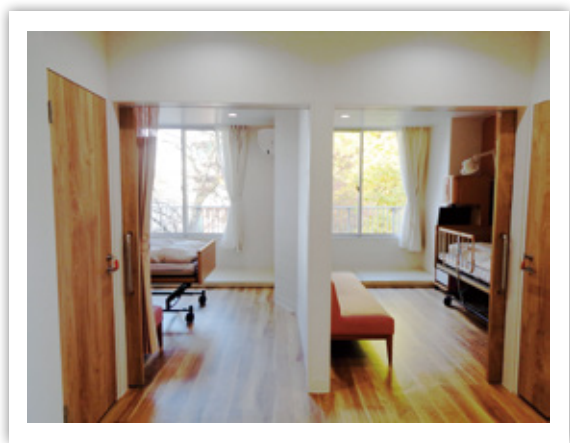
利用できる方は小金井市民（利用時に住民登録のある方）、サービス利用日において生後4ヶ月未満の乳児と母親、ご家族等から援助が受けられない方、授乳・育児について不安がある方です。利用される場合は、小金井市健康課へ利用登録申請し保健師と面談をおこなった後、利用登録承認通知が交付されます。

産後ケアの内容は、母体ケア（乳房マッサージ、健康状態のチェック、休息・睡眠など）、お子様のケア（授乳、身体測定など）・育児相談、授乳支援、沐浴などです。（現在、新型コロナウイルス感染症の影響で面会や外出ができないことをご了承ください。）

出産後、利用日が決まりましたら桜町病院へ電話をしてご予約下さい。

**桜町病院 電話 042-383-4111 月～金（祝日を除く）9時～16時**

『産後ケア利用です』とお伝えください。担当者が対応いたします。



# 楽しく元気に前向きに

桜町児童ショートステイ 森田 梢友美

桜町児童ショートステイは、障害児の短期入所、日中一時支援を行う事業所です。利用する中で、お散歩や買い物、書類の提出や下膳などの病院内で行うお手伝い、職員との交流を楽しみにしている子どもたちがたくさんいます。

しかし、今年は感染症対策により、人の多い公園や施設に行くこと、商店や病院内に立ち入ることができなくなりました。

今までの日常を違った形で取り戻すため、職員間で日々話し合いを行っています。主な活動として、壁面制作をはじめ、小麦粉粘土や氷遊びなどの室内遊び、病院職員の方に協力していただき屋外や窓越しでの交流など、楽しい日常を過ごしています。

このような状況になったからこそ、子どもたちと新しいことにチャレンジすることができ、今まで気が付くことのなかった子どもたちの新たな発想や成長を実感することができています。今後も、子どもたちや保護者の方をはじめ、職員一同前向きで元気に、そして子どもたちと笑顔で過ごしていけたら良いと思っています。



壁面制作



小麦粉粘土



## 「支えられ、支えていくこと」

小金井訪問看護ステーション 高橋 真由美

\* 今年度は感染対策に日々追われる中、様々な方面よりご支援頂くなど、周りの方々に支えられての仕事だと強く感じます。私は離職した期間がありますが、院内保育所を利用することで仕事が続けられ、20年が経とうとしています。

日々の訪問の中ではご本人の「どのように在宅生活を続けたいか。」ご家族の「どのように支えていきたいのか。」の気持ちを汲み取り、訪問看護を行っていくことが大切だと考えています。あるご家族から体調のご相談があり訪問した際、真夏に暖房をつけ汗びっしょりである利用者の方がおられました。着替え、清拭など提案しても「いらない。」と断られることが続いたのですが、ご本人のお話に耳を傾けることを続けていくと「寒気がすると痺れてくるんだ。」と本人なりの対処法であったことを話して下さいました。その後は「体を拭いてもらいたい。」とご本人から希望されるようになり、また環境も調整することが出来ました。この方はまず自分の苦しみを医療者に聴いてもらいたかったのだと思います。言葉だけでなく表情、声のトーン、言葉の断片など様々なヒントを見逃さず、ご本人、ご家族の望まれる生活を支えていく訪問看護師となるよう努力してまいります。



## 行事「敬老会とお月見」

桜町聖ヨハネホーム 介護係長 鳥海 美教

今年度はコロナ禍でご利用者様には制限が多い中、季節を感じ楽しんでいただきたいという思いで、様々な行事を行っています。

9月21日の敬老会では豪華なお祝い膳、おやつとドリンクバイキング、職員による和太鼓・ハンドベルの演奏があり、演奏に合わせてご利用者様も歌を口ずさんでいました。

また、10月1日のお月見ではススキやお団子などの御供え物を飾り、ここ数年では見られないような奇麗なお月様に歓声が上がり、夜風を感じながら語らう時間を楽しめました。

今後も全職員が知恵を出し合っ  
てご利用者様が楽しめること、笑顔になれることを考えていきたい  
と思います。



## サツマイモ掘り

桜町高齢者在宅サービスセンター 通所介護係 秋山 仁

今年は新型コロナウイルスの対策で、桜町センターではボランティアの皆様をお呼びしてのイベントや行事は自粛しており屋内での活動には制限がありますが、その様な中、小金井市本町2丁目の大久保農園の土地をお借りし、5月から栽培していたサツマイモ（紅あずま）が収穫の時期を迎え、10月下旬の晴れた日にご利用様と農園に出かけました。

当初はスタッフが収穫し、ご利用様は「芋掘り見学」の予定でしたが、以前に経験がおありなのか、黙って見ていられるご利用様ではございません！（笑）

普段着でしたので心配しましたが、手や靴が汚れることなど気にもせず、率先して芋掘りに参加してくれました。

芋は予想よりも大きく育っており、掘れや掘れやの大収穫！！

「久しぶりに土を触った」「楽しかった」という声を頂き、晴れ渡った空の下大変有意義なひとときを過ごしました。

収穫したサツマイモは、ご利用様の「おやつ」としてご提供させていただく予定です。



## コロナ禍時代の敬老会企画の模索と日々の支援の振り返り

小金井市立本町高齢者在宅サービスセンター センター長 山極 愛郎

コロナ禍での初めての敬老会。巷ではZoomやらSkypeだの活用したオンラインの音楽配信なども当たり前になりつつありますが、介護業界の普及率はまだまだ。思案した挙句、昭和Styleでビデオ撮り企画を進めることにしました。

音楽ボランティアに演奏のビデオ収録をお願いし、その映像を液晶プロジェクターで映画館並みの迫力で観る。

今回は「ブルーメンの音楽隊」にご依頼させていただきましたが、これが、なかなかのライブ感で最高でした！（バンドの皆様へ感謝！）

ビデオは、行事日以外のご利用者様にもご覧いただけるので、一石二鳥。災い転じて福となしました。

また、敬老の日に当センターは世界に一つしかないご利用者の写真入りカレンダーを製作しプレゼントしています。これも大好評でした。

そんな折、一家族から心あたたまるお手紙を頂きました。内容を拝見させていただくと、日々の支援に対する称賛と実感いたしました。地味で目立たず、形にも残らない介護（ケア）サービスですが、そこを大切に考え、実践できる支援者の存在が大事なのだと思います。これからも様々な機会を捉え、私たちは自分たちの支援の在り方を深めて参ります。

※写真（お手紙）の掲載はご家族様からご了承を得ています。

家族より連絡事項  
本所スタッフの皆様へ  
通所してすぐに面談の申し込み各機便  
整えり今迄にない感激に涙が  
あふれ出ました。  
そして今日、2021年のカレンダーを持ち帰る  
致した時の主人の顔色を見て又、うれ涙が  
止りませんでした。  
ほんとうに、何れも大変お世話になりました。  
主人と共に幸せを感じて居ります。  
皆様の健康と長寿を  
願わねばなりません。  
ほんとうに、ありまして（伊藤 隆子）  
2020.9.24. 日曜日  
追伸 頂戴の著書は、私も  
読んでおきたい  
ありがとうございます

## ミニヨハネ祭

富士聖ヨハネ学園 行事委員会 平賀 久二仁

新型コロナウイルスの蔓延に伴い、毎年の恒例行事となっているヨハネ祭を中止にするという苦渋の決断をしました。しかし、恒例となっている行事を中止するには、あまりにも寂しすぎるため、行事委員会で何か変わる形でヨハネ祭ができないか協議し、毎月、行っているお楽しみ市をいつもと違った内容（利用者が楽しめて、いつもと違う出店内容で）で行うことに決定しました。

令和2年9月25日（金）『ミニヨハネ祭』を開催。当日は雨天でしたので、ソフィアホールをステージにし、オレンジロードを模擬店会場としました。

新人職員によるダンスや管財係の職員の庄司香恋さんによるギター演奏と歌、2課利用者による歌の発表など小規模ながらもを披露してもらいました。また、各課で模擬店（1課：プリン・2課：ポテトとウインナー・3課：コーヒー・コーラフロート・4課：肉うどん・通所課：駄菓子・食事サービス課：ケーキ・事務管理：揚げせん）を出店し、いつもと違った出店内容にし、皆さん、たいへん喜んでくれました。

例年とは違うかたちのヨハネ祭となりましたが、たくさんの笑顔を見せてくれ、やってよかったなあと感じております。

来年は新型コロナウイルスが終息し、盛大なヨハネ祭が開催できることを願います。





## 障害者文化展 知事賞受賞！！

富士北麓聖ヨハネ支援センター 渡辺 美帆

創作の活動では毎月テーマを決めてグループ作品や個人作品を作っています。今年はコロナ渦で作品を発表する場がなく、せっかく作った作品が倉庫に眠る日々を過ごしていました。そんな所に山梨県障害者文化展の開催の知らせが届き、職員も利用者さんもやる気満々！！張り子・手芸・絵画など多くの大作が出来上がりました。そして！Yさんの張り子で作った‘アマビエ・予言の鳥’が知事賞を取りました！コロナの終息を願って作った張り子です。時間をかけて丁寧に作りました。Yさんも知事賞が取れ満面の笑み。さらなる創作意欲が沸き、今は編み物に挑戦中です。受賞を逃した方たちもまた来年の文化展を楽しみにしています。



## ハロウィーンのサプライズ

清瀬聖ヨハネケアビレッジ 山澤 洋見

新型コロナウイルスの影響で週末の移動支援やイベントが中止になり、利用者さんからも「何も出来ないね」との言葉が聞かれました。

少しでも利用者さんに楽しんで頂けるよう10月30日にハロウィーンのお菓子を配るイベントを行いました。利用者さんのご家族からはハロウィーンケーキのサプライズプレゼントもあり、可愛いケーキに歓声があがりました。

12月にはクリスマスツリーを飾り、今年からは新しい手作りのリースも加わり華やかな雰囲気になりそうです。クリスマスプレゼントを買いに行く計画も立てています。

今後も感染予防対策をしながら利用者さんが楽しめるイベントを考えていけたらと思っています。





## パン販売を再開します!!

小金井聖ヨハネ支援センター 就労継続支援B型 係長 田形 大輔

### 【お導き】

小金井聖ヨハネ支援センター就労継続B型では、2020年12月にパン工房PAXブレッドをリニューアル致しましたが、諸々の事情により販売をストップしておりましたが、支えてくださる皆様のお声に応えるべく一からパン事業を立て直すことを心に決め、昨年より取り組んで参りました。当初は失敗の連続。パンの知識は全く無かった私達ですが1年が経とうとする今、自信を持って焼けるようになりました。また、技術の向上、新しい商品の開発を見据えていたタイミングで、パン製造に携わっていた職員の加入も重なるなど、より一層心強く取り組めるようになりました。第一に利用者さんの就労支援の場を豊かにし、活気溢れる支援センターを目指していく所存でございます。「きっかけ、出会い、タイミング」思い返せば全てが「イエス様のお導き」だと私は心に留めております。



今後も誠心誠意、気を引き締め「美味しいよ」と言って頂けるパンを目指し、取り組んで参ります。

### 編集後記

当法人はみなさまより毎年多くのご寄付をいただいておりますが、本年は新型コロナウイルスによる特別給付金を全額ご寄付いただく機会が多くございました。「自分たちは今は必要ないので、医療現場や介護福祉の現場で大変だと思うので使ってください」と。本当にありがたいことと思います。この場をお借りしましてお礼申し上げます。(竹)

### 社会福祉法人 聖ヨハネ会にご援助を!!

### 会の福祉事業発展のために

私どもの福祉事業は大別すると下記の種類があります

桜町病院（一般病棟・療養病棟・ホスピス病棟）

富士聖ヨハネ学園・富士北麓聖ヨハネ支援センター（障害者支援施設・障害福祉サービス事業）

桜町聖ヨハネホーム（特別養護老人ホーム・老人短期入所事業）

桜町・本町高齢者在宅サービスセンター（老人デイサービスセンター・老人居宅介護等事業）

小金井・清瀬聖ヨハネ支援センター（居宅支援・就労支援事業）

#### ★銀行振込★

口座名 社会福祉法人 聖ヨハネ会（普通預金）三菱東京UFJ銀行小金井支店 No.4127570

#### ★郵便局振込★ 00190 - 7 - 711126 社会福祉法人 聖ヨハネ会